

戦後大学教育の証言―東京教育大学の学生新聞が復刻出版



復刻された学生新聞の創刊号(左)と題紙母

筑波移転問題をめぐって学内が二

つに分かれ、今な

おその会議のつづ

いている東京教育

大学はこの三月

末いよいよ筑波。

その略段にしの

びない、と同大学

の新聞会日丑の間

から二階段になれ

ば國らの青春を刻

み込んだ学生新聞

の存在も忘れられ

てしまふ」といふ

声が上がると、今

回、その学生新聞の復刻版出版

が出版された。

復刻されたのは、昭和二十一年七月一日付の東京文理科大学

が出版された。

の戦後復刊第一号から四十八年四月十日付の最終号まで、A4判入り千五十八号の縮刷本。日本の「大学」の姿でもあり、

新制大学発足にあたっての

「学術研究が教員養成か」の論

争、筑波移転をめぐる大学論争

など、この縮刷版は、「大学の

歴史の証言にとどまらず、たえ

が日本の教育と大学のあり方を

一流建築家たちの描いたスケッチが画集に

「代々木森林公園一景」、大高

正人氏の「道と広場と建築と」、

日本画の前田博徳氏に私淑して

いた仲威雄氏の「ツイニヤンス

キーのバイオリン協奏曲第三番

を弾く前橋口子」、高橋之民の

「CONOYRI」、山下和

正氏の「ミッドルチャルトウン」

などがある。二千部の限定出

版。定価三、五〇〇円。

ても十分にやっけていけそうな

前の人もいるとか。

収録作品には、今井豊次氏の

問い合わせ先―日本建築学会

関東支部 電話03・65011